



『エゾナキウサギ 鳴き声でぎずなを結ぶ』

児童図書

佐藤圭／写真・文 文一総合出版 2023
ネズミのような姿をしたエゾナキウサギ。何万年も前から北海道で生きてきた小さなウサギの仲間です。いつもひとりで行動しますが、鳴き声でほかの仲間とコミュニケーションをとりながら命をつないでいます。なぞの多いエゾナキウサギの生態を紹介した写真絵本です。



『夏のサンタクロース フィンランドのお話集』

児童図書

アンニ・スヴァン／作 ルドルフ・コイヴ／絵 古市真由美／訳 岩波書店 2023
サンタクロースはクリスマスが終わると、夏の間はゆっくりと寝ています。その時、絶対に脱ぐことがなかったブーツをヒーシ（魔物）に取られてしまいます。一歩進めば70キロメートルも進めるというブーツです。取り返さないと今年のクリスマスが心配です。



『ラーゲリ犬クロの奇跡』

児童図書

祓川学／作 田地川じゅん／絵 ハート出版 2023
第二次世界大戦が終わった後、シベリアの強制収容所では、多くの日本兵が、寒さの厳しい中、強制労働をさせられていました。ある日、ラーゲリに子犬が連れてこられました。「クロ」と名付けられた、そのあいらしい犬は、兵士たちの心をいやしてくれるのでした。



『今日もピアノ・ピアノ』

児童図書

有本綾／作 今日マチ子／絵 Gakken 2023
小学6年生の海斗は、うかない顔で塾に向かう途中、駅にあるピアノで美しい音を奏でるおじいさんに会います。海斗はおじいさんとピアノが気に入り、翌日も駅に向かいました。学校や塾、習い事でいそがしい中で、小さなこころの変化を描いた物語です。



『シーリと氷の海の海賊たち』

児童図書

フリーダ・ニルソン／作 アレクサンデル・ヤンソン／絵 よこのな／訳 岩波書店 2023
10歳の少女シーリが住む氷海には、海賊シロガシラが子どもたちをさらってしまうという物語がありました。ある日、妹のミーキがシロガシラの海賊船にさらわれ、一人で助けに行くことを決めます。旅の中でシーリは生きる厳しさを知り、立ち向かっていきます。

クリスマスの おくいもの

2024

冬の季節に おすすめしたい本を選びました。

このブックリストは出版者の許可を得て表紙を掲載しています。
宮崎県立図書館 児童図書室 (0985) 29-2596



『ゆきのひのぼりす』



えほん

ディック・ブルーナ／ぶんえ なかのゆりこ／やく 福音館書店 2024
ゆきが たくさんつもり、くまの ぼりすは そりあそびに でかけました。いえの ちかくにある おかを のぼって、そりに のりこみます。えいと じめんを けると、すぴーどを あげて すべったそりは ひっくりかえって しまいました。さむい ふゆでも あそびたくなる おはなしです。

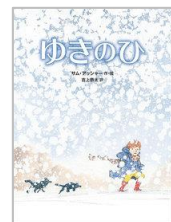


『ゆきのゆきちゃん』



えほん

きくちちき／作 ミシマ社 2023
ねこの「ゆきちゃん」は、ゆきのひに そとへ でかけました。もりの なかで どうぶつたちに じぶんの なまえの ゆらいを きくと、みんな すてきな こたえを かんがえて くれました。ゆきちゃんは うれしくて たまりません。さむくても、こころが あたたかくなる おはなしです。



『ゆきのひ』



えほん

サム・アッシャー／作・絵 吉上恭太／訳 徳間書店 2023
あめが ふって さむいあさ、おじいちゃんが いいものをつくらしてくれました。そとを みれば、あめが ゆきにかわっています。いいものをもって おでかけすると、まいごになった いぬの はりがみがありました。ぼくと おじいちゃんは ゆきのなか いぬを さがしはじめます。



『クリスマスにゆきがふりますように』

えほん

シビル・ドラクローワ／作 石津ちひろ／訳 講談社 2023
クリスマスの まえのひ、リュシーと ユリスは すんでいる いえに そっくりな スノードームを プレゼントされました。そのよる、ねむれなかったリュシーは、スノードームを ふってみました。すると、つめたくて、はねよりも かるいものが ほっぺに まいおりにきたのです。



『赤いけいとつながって』



えほん

リサ・モーザー／文 オルガ・デミドヴァ／絵 よしいかずみ／訳 BL出版 2023
なかよしの あなぐまの アニーと やまあらしの チックルは、もりのなかで それぞれが あかい けいとを ひろいました。おたがいが ふたりで たのしめる ものを あみますが、あと ちょっとで できあがりとおもうと、あみめが ほどけてしまいます。その けいとは いっぽんだったのです。



『おしえて!あむあむさん』

えほん

間部香代／作 浅野みどり／絵 世界文化ワンダーグループ 世界文化社(発売) 2023
ひつじの あむあむさんは、あみものやさん。あるひ くまさんが、まえにあんで もらった セーターが ちいさくなったので、あみなおしてほしいと やってきました。あむあむさんは、するするっと ほどいて、2ほんの ぼうで あむあむあむ。さあ、なにになるのでしょうか。



『雪だるまルートヴィッヒのねがいごと』

えほん

レーロ・トウンガル／文 レジーナ・ルックトウンペレ／絵 塩崎香織／訳 化学同人 2023
ゆきだるまの ルートヴィッヒは、なにもかも もっていて、まいにち ごきげんに くらしていました。けれど、クリスマスが ちかいことを、ことりたちに きいたときから、ある ねがいが あたまに うかび、それが どんどん おおきくなっていきます。エストニアの おはなしです。



『サンタさんはどうやってえんとつをおりるの?』



えほん

マック・バーネット／文 ジョン・クラッセン／絵 いちだいづみ／訳 徳間書店 2023
サンタさんは からだが おおきいのに、どうやって えんとつを おりるの? ベルトを ぎゅっと しめるの? ねずみくらい ちいさくなるの? えんとつの ない いえには どうやって はいるのなど、サンタさんへの ぎもんは みんな もっています。



『クリスマスマーケット ちいさなクロのおはなし』

えほん

降矢なな／文・絵 福音館書店 2023
まちは クリスマスマーケットで おおにぎわいです。あるひ おんなのこが おかあさんと やってきました。ひとごみの なかで、だいじなぬいぐるみの スノウを おとしてしまいます。それを みつけたのは、マーケットで にんきの クロという ちいさな いぬでした。



『ふゆのあとにははるがきます』



えほん

石井睦美／文 あべ弘士／絵 アリス館 2023
「ゆきむし」が とびはじめると、さむい ふゆが やってきます。こどもたちは まっしろな せかいに わくわく。おとなたちは ゆきかきにおおいそがし。どうぶつたちも それぞれに ふゆじたくを はじめます。きたぐにの せかいを いっしょに たのしみたくなる おはなしです。